



## 募集要項

賞ラインナップ
マニフェスト推進賞
成果賞*
政策提言賞*
コミュニケーション戦略賞
躍進賞

各賞の概要や審査基準など詳細はホームページをご覧ください。首長・議会・議員に限らず、どなたでも応募頂けます。具体的には、市民団体、NPO、自治体職員、教育機関、民間企業、メディアなど、立場を問わず善政競争につながる活動や取組であれば対象となります。応募内容により、応募部門とは異なる部門で表彰される場合もございます。

\*成果賞と政策提言賞のみ、首長は応募できません。

## エントリーから表彰までの流れ



さらに、各部門の最優秀賞受賞者のうち、最も優れた受賞者をグランプリとして表彰

## 前回の受賞事例 (抜粋)



古川雅典市長(多治見市)

市民や有識者、執行部、市議会の3者による徹底した議論とその末の政策決定を経ることで個々のマニフェストを事業計画に落とし込み財政的な担保を確保することで100%の実現をめざす取組み。



奥州市議会

「政策立案等に関するガイドライン」を策定し常任委員会ベースの議会活動を推進。「議決・決議」という従来の権限と「政策提言」という政策をつくり議決まで持っていくことを実現。



株式会社チューリップテレビ(富山県)

富山市議会を4年にわたって集中的に取材。「議員報酬の引き上げ」取材を皮切りに、後に14人の市議が辞職する「政務活動費の不正」の調査報道に繋がりました。



多胎育児のサポートを考える会(東京都千代田区)

全国の多胎児家庭世帯からアンケートで回答を集め、様々な困難を可視化。令和2年度からの多胎児家庭支援制度の創設へと繋がりました。



小川ひさし(さいたま市議会議員)

障害者当事者と共に市に独自制度の創設を求め、2019年度に全国で初めての「重度障害者就労支援制度」創設の実現へと繋がりました。



町田市議会

議案の審査状況を「議案のカルテ」として制作し、インターネットで公開。会議ごとではなく、議案ごとにまとめた市民目線で分かりやすくまとめています。



湯沢市議会

女性議員ゼロの危機感から秋田県内の市議会での初の開催となる模擬議会「湯沢市女性議会」を開催した。ここから実際の女性議員が誕生しています。

## 開催概要

主催	マニフェスト大賞実行委員会	共催	早稲田大学マニフェスト研究所、毎日新聞社
後援	株式会社共同通信社	協賛	株式会社NTTデータ/森ビル株式会社/株式会社メディアドゥ
協力	公益財団法人明るい選挙推進協会 公益社団法人日本青年会議所		NTTアドバンステクノロジー株式会社/東京インタープレイ株式会社 株式会社社会議録研究所/株式会社図書館総合研究所

授賞式 11月12日\* 六本木アカデミーヒルズ 49F タワーホール

応募方法 ホームページの応募フォームに必要な事項を記入のうえ送信

お問合せ ローカル・マニフェスト推進連盟/マニフェスト大賞事務局  
(早稲田大学マニフェスト研究所内)

\*新型コロナウイルス感染拡大の状況等により、11月10日・11日の研修会とともに授賞式の開催手法等については変更の可能性があります。

TEL.03-6214-1315

## 2019 マニフェスト大賞応募内容

### ○若い世代の考えを政策に繋ぐ ～高等学校との「包括連携協定」締結～

芽室町議会では、毎年、議会基本条例に基づき議会活性化策に取り組む中で、近年は「町民との意見交換会の深化と充実」を主要事項に掲げ、平成28年度からは、町内2つの高校に議会が赴き、町内外から通学する生徒を対象として、議会・議員、まちづくりへの関心の入り口となるよう「高校生との意見交換会」を開催している。

この意見交換を発展させ、平成30年度には町内私立高校と議会との間で、『双方が人的・知的資源の交流・活用を図り、双方の活動の充実・発展に資する』ことを目的とした「包括連携協定」を締結した。

また、2月には連携協定に基づいた事業を行い、当該高校1学年全クラスの社会科授業に全議員がアドバイザーとして参加。「学校のとなりに、巨大なゴミ処理場が建設されることになったらどうするか」を課題として、生徒と共にワークショップを行った。

#### ■特に力を入れた点、取り組みのポイント。

- 協定締結により、高校と議会、双方の交流を定番化することで、議会にとっては「若い世代の考えを政策に反映」させ、高校にとっては生徒の「まちづくりを考え・参加する機会」とすることに繋げる礎とした。
- 利害の相反する社会的課題をテーマとして議論することで、高校生自らが「自分事」として社会問題に向き合い、自らの生活と政治（行政）とが無関係ではないなどについて理解を得るようテーマ設定に配慮している。
- 授業でのディスカッションに先立って、生徒が、事前学習や実際のゴミ処理場の調査を行い、そこで得た知見を予め整理をしてから、ワークショップに臨むなど、しっかりと時間をかけて課題に取り組んだ。
- 全議員が参加することで、行政や議会との関わりを学ぶ機会とした。

#### ■応募賞名：成果賞

#### ■応募区分：議会

#### ■参考URL：

- ・ [http://www.memuro.net/gikai/public/pdf/forum/houkokusho\\_3103.pdf](http://www.memuro.net/gikai/public/pdf/forum/houkokusho_3103.pdf)（議会報告と町民との意見交換会総括報告書）

■添付写真

- ①白樺学園高校との包括連携協定
- ②包括連携協定事業の様子

■添付資料

- ①芽室町議会と白樺学園高等学校との包括的連携協定書・H30 連携協定事業配布資料
- ②平成 30 年度議会報告・意見交換会（高校生）報告書

## 2020 マニフェスト大賞応募内容

### ○議会実行計画書「進捗工程表」の導入

～議会活性化策・委員会政策課題の見える化に向けて～

芽室町議会では、平成25年度から議会基本条例に基づき、PDCAサイクルをまわしながら議会運営を行うためのアクションプランである「議会活性化計画書」を策定している。

従前、議会活性化策についてのみを対象として計画から実践、評価までを管理する計画だったが、令和元年の議員改選以降、住民福祉向上のため具体的成果を今まで以上に意識した議会活動を行うべきと考え、より町民に対して「見える化」を意識した改善と、併せて、「バックキャスティング」すなわち「目的志向」の考え方を採り入れ、議会活性化策に、各常任委員会の政策課題を加えた「議会実行計画」と「進捗工程表」を、活性化計画の柱として、改善を行ってきた。

### ■特に力を入れた点、取り組みのポイント。

- 活性化策に加えて常任委員会の政策課題を一元的に進捗管理することにより、「今、議会は何を課題とし、どのように活動し、どんな結果を出したのか」を可視化できるようにした。
- 各活性化策、政策課題は、単年度完結にこだわらず、4年任期及び2年任期（委員会）を意識し、長いスパンでの課題提起・調査を可としている。また、年度途中での新規課題の組み入れ、課題解決を可としている。
- 翌年度計画の策定に当たっては、前年度の「議員自己評価結果」「前年度の活性化策・政策課題の未達事項」「議会改革諮問会議からの答申事項」を加味して、弱点を改善する手法を、毎年度繰り返している。
- 今年度から実施している外部評価の一つ「住民アンケート」からの分析結果も、活性化策の設定に反映している。

### ■応募賞名：成果賞

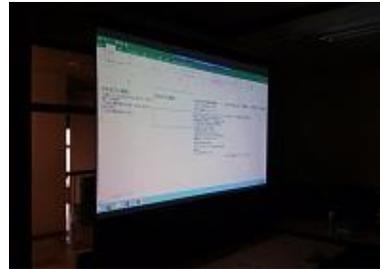
### ■応募区分：議会

### ■参考URL：

- ・[http://mgikai.memuro.net/activation/pdf/R01gikai\\_kasseika\\_saisyuu.pdf](http://mgikai.memuro.net/activation/pdf/R01gikai_kasseika_saisyuu.pdf) (令和2年度活性化計画書・令和元年度活性化計画（最終評価・単年度版）)

■添付写真

①住民アンケートの分析議論の様子（議会運営委員会）



■添付資料

①令和2年度活性化計画書・令和元年度活性化計画（最終評価・単年度版）